東海経済レポート（2026年10月）

2026年10月22日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室（名古屋）

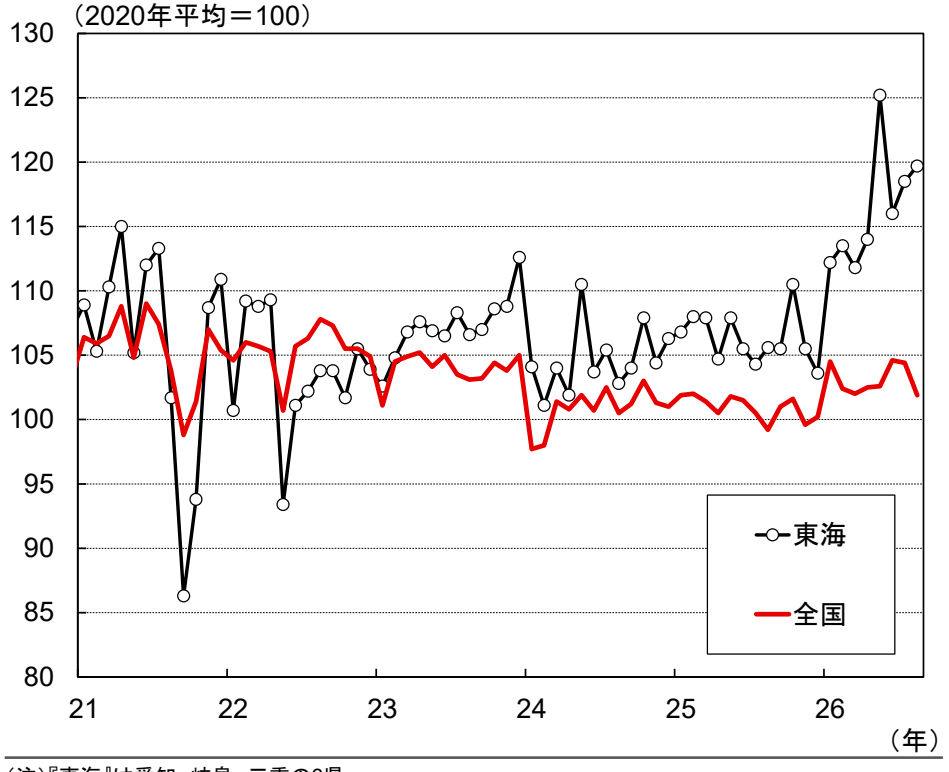
三菱UFJ銀行

MUFG

概況・生産

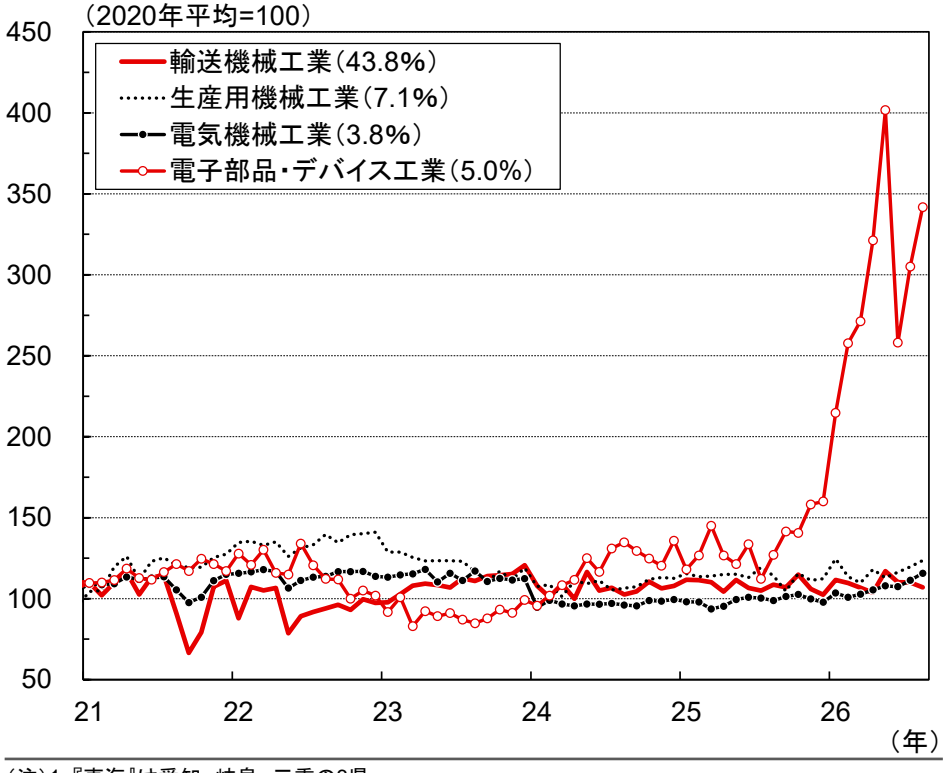
- 東海経済は、中東情勢の影響がみられる中でも、緩やかな回復を継続している。
- 製造業は、自動車輸出の持ち直しやAI・半導体需要の堅調さを背景に、全体として回復基調を維持。サービス業は、物価上昇が重石となり家計マインドにやや弱さがみられるものの、賃上げ定着の流れや政府の物価高対策などを支えに底堅く推移。
- 先行き、中東情勢に起因する資源高や供給制約による下振れが想定されるものの、企業の旺盛な設備投資意欲や高水準の賃上げ、来年4月の食料品消費税の引き下げや政府の物価高対策などが下支えとなり、全体として底堅い景気が続く見通し。但し、中東情勢を巡っては不透明な状況が続いており、追加的な物価上昇を通じて企業・家計マインドが悪化する可能性や、世界経済の牽引役となっているAIに係る期待に大幅な修正が生じた場合に景気が下振れするリスクには警戒が必要。
- 8月の鉱工業生産指数は前月比＋1.0%と2ヵ月連続の増加。業種別にみると、輸送機械（同▲2.7%）が減少した一方、電子部品・デバイス（同＋12.1%）、電気機械（同＋4.0%）、生産用機械（同＋3.2%）は増加。

鉱工業生産指数



（注）『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
（資料）中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

業種別の鉱工業生産指数（東海）

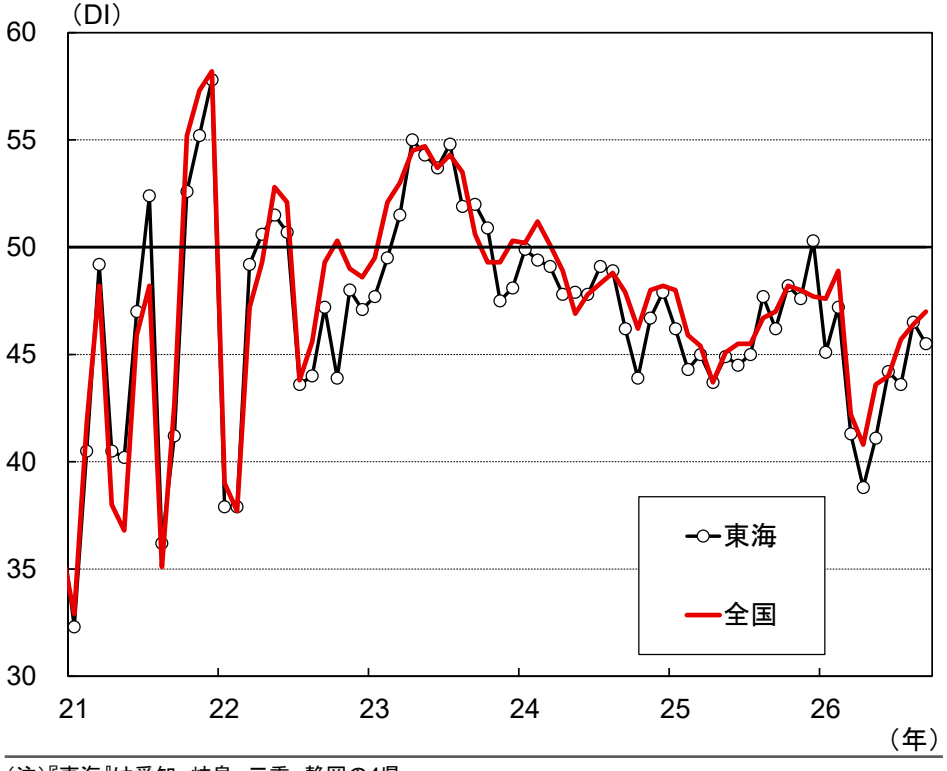


（注）1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.（ ）内の数値は、業種毎の付加価値額の比率（2020年基準。中部経済産業局算出）。
（資料）中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

景況感・輸出

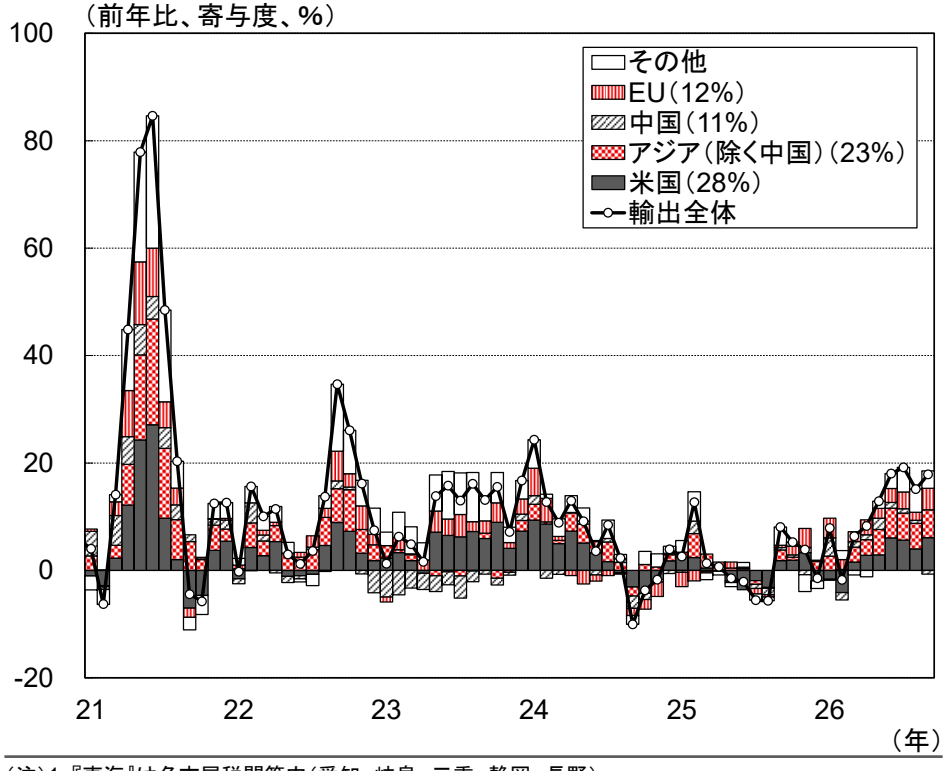
- 9月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは45.5（前月比▲1.0ポイント）と2ヵ月ぶりに悪化し、9ヵ月連続で50を下回った。中東情勢の不透明感やそれに伴い物価の高止まりが続くとの懸念などが景況感の重石に。
- 9月の輸出額（円ベース）は前年比＋17.9%と7ヵ月連続の増加。地域別では、中国向け（同▲6.3%）が減少した一方、EU向け（同＋32.1%）、米国向け（同＋23.0%）、アジア（除く中国）向け（同＋22.7%）は増加。品目別では、自動車（同＋22.4%）、電気機器（同＋19.4%）、一般機械（同＋11.4%）、自動車部品（同＋6.9%）がいずれも増加。

景気ウォッチャー調査（現状判断DI）



（注）『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
（資料）内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

輸出額（東海）

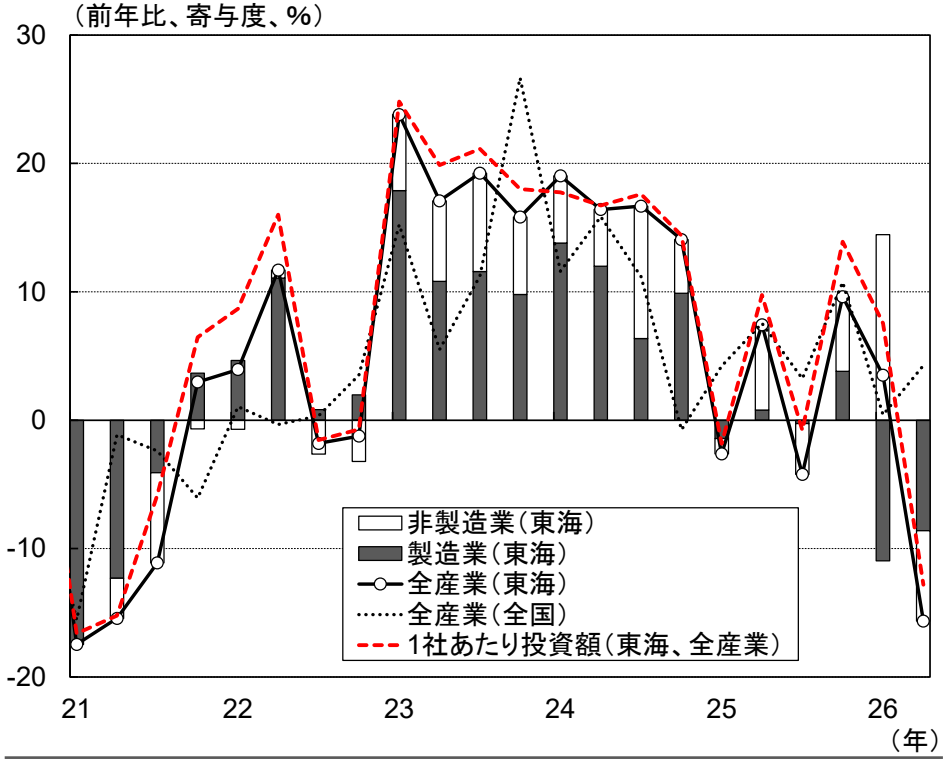


（注）1.『東海』は名古屋税関管内（愛知、岐阜、三重、静岡、長野）。
2.（ ）内の数値は2025年輸出総額に占めるシェア。
3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。
（資料）名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

設備投資・機械受注

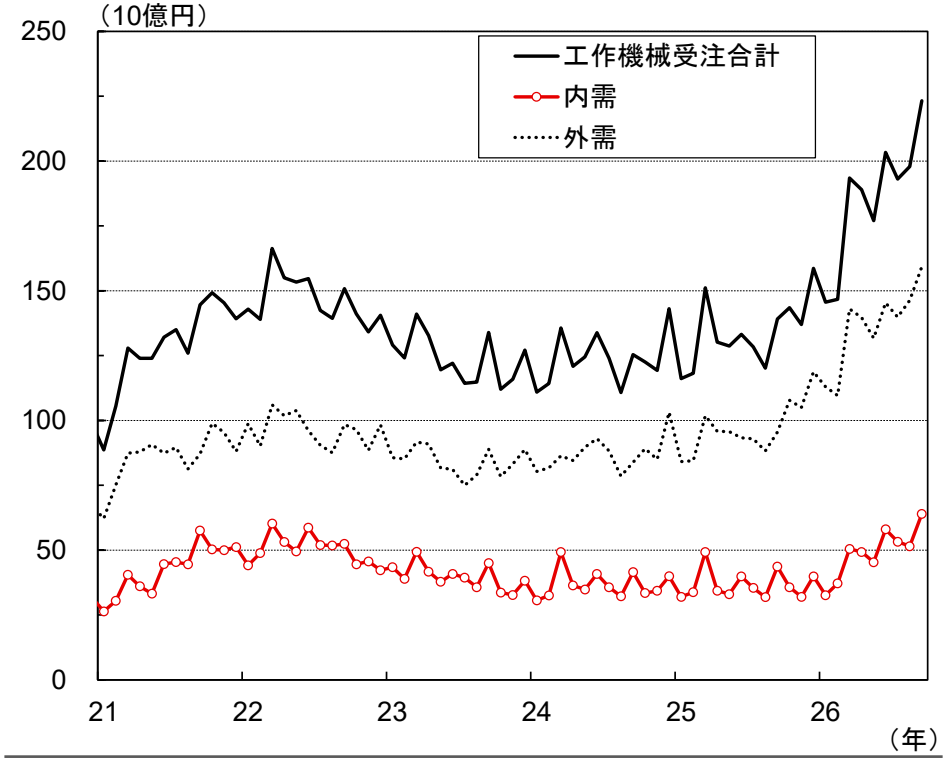
- 4-6月期の大企業の設備投資は前年比▲15.6%と3四半期ぶりに減少。製造業は2四半期連続、非製造業は3四半期ぶりに減少。
- 9月の全国の工作機械受注額は前年比＋60.4%の2,232億円と15ヵ月連続で増加。内需は同＋46.5%と9ヵ月連続の増加、外需は同＋66.8%と24ヵ月連続の増加。

大企業の設備投資



（注）1.『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
2. 資本金10億円以上の企業を対象。
3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出。
（資料）東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

工作機械受注額（全国）

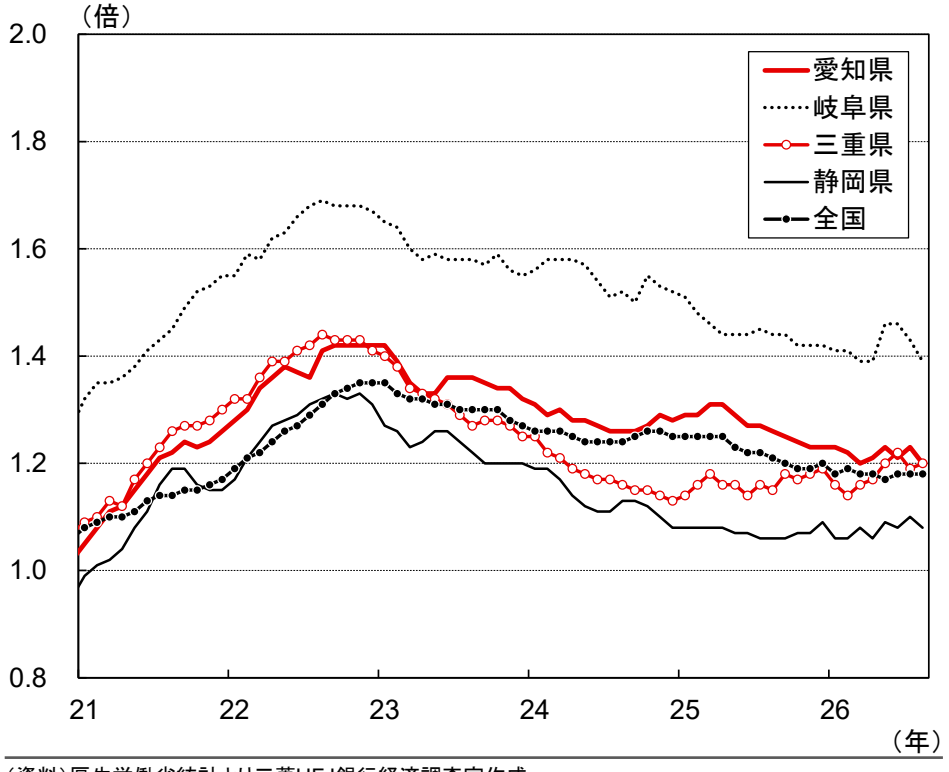


（資料）日本工作機械工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

雇用・所得

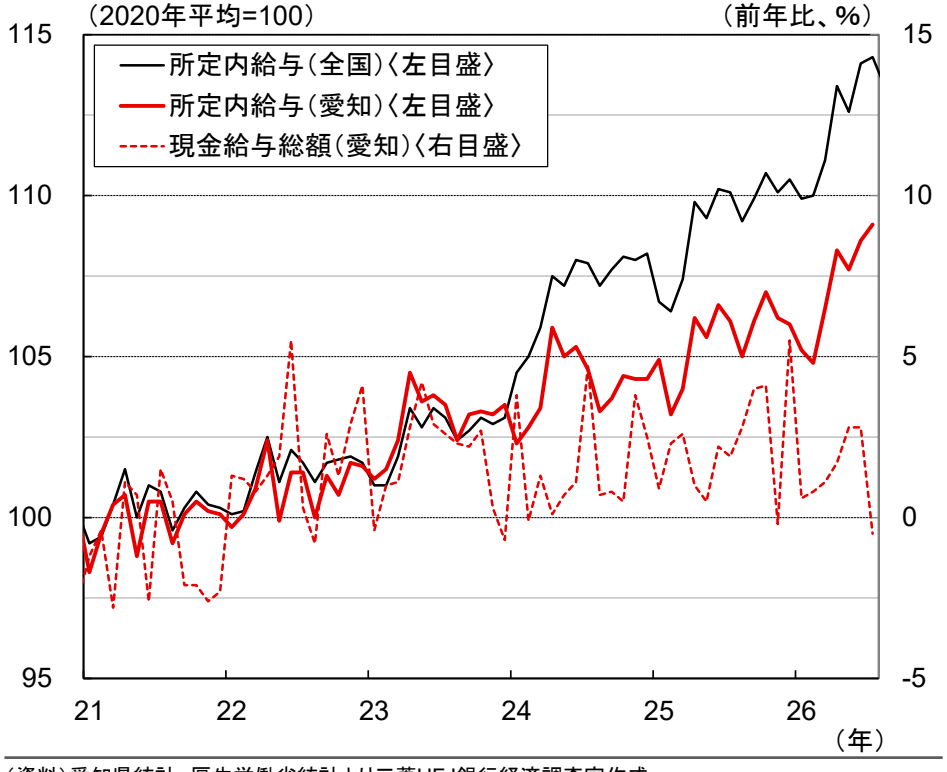
- 8月の有効求人倍率は、前月比で愛知県、岐阜県、静岡県が低下、三重県は上昇。愛知県、岐阜県、三重県は全国平均を上回って推移。
- 7月の現金給与総額（愛知）は前年比▲0.5%と8ヵ月ぶりに減少。基本給（所定内給与）は振れを伴いながらも増加基調で推移。

有効求人倍率



（資料）厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

賃金の推移

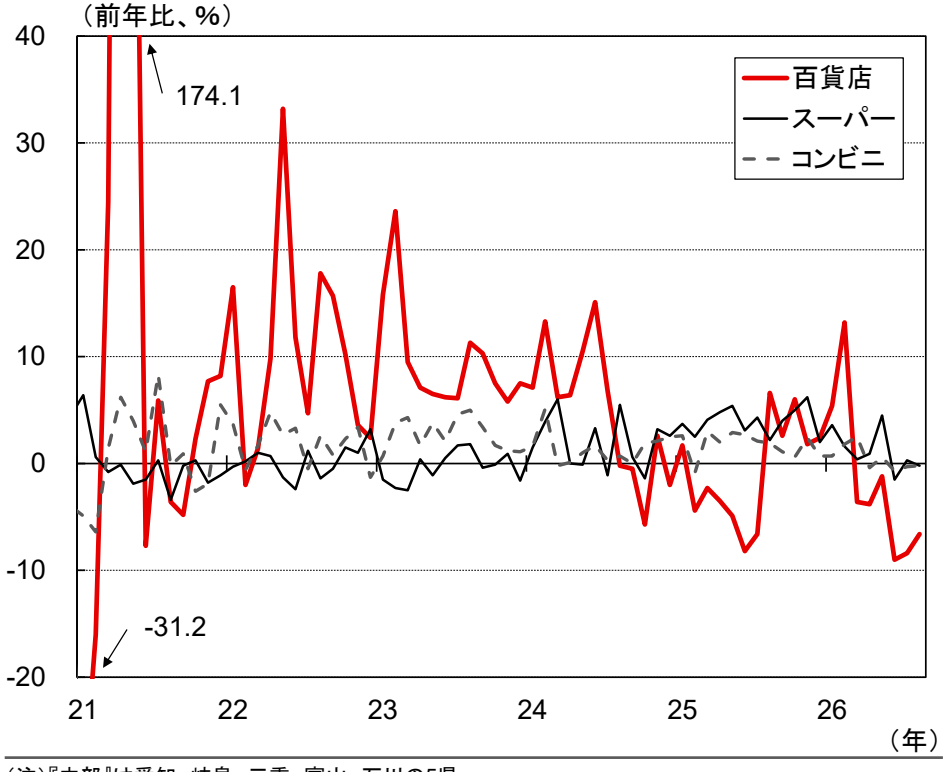


（資料）愛知県統計、厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

個人消費・住宅投資

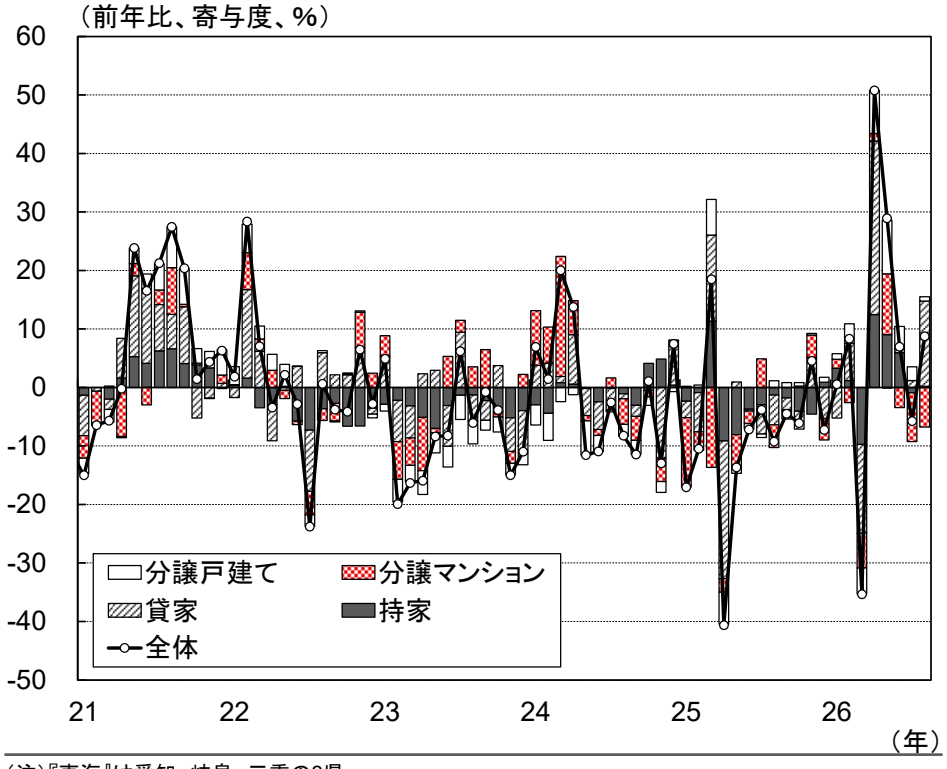
- 8月の小売主要3業態の販売額は、百貨店が前年比▲6.6%、コンビニが同▲0.2%と減少、スーパーは同±0.0%と横這い。
- 8月の新設住宅着工戸数は年率7.5万戸、前年比＋8.8%と2ヵ月ぶりに増加。用途別では、分譲マンション（同▲57.7%）が減少した一方、貸家（同＋42.4%）、分譲戸建て（同＋4.3%）、持家（同＋0.6%）は増加。

小売主要3業態の販売額（中部）



（注）『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
（資料）中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

新設住宅着工戸数（東海）

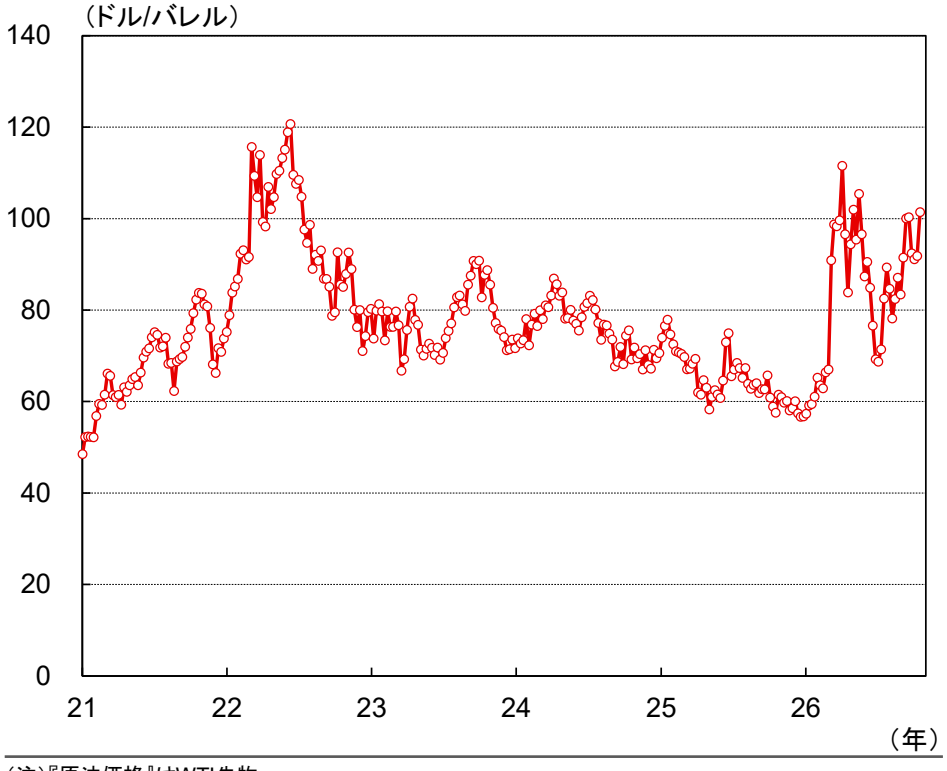


（注）『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
（資料）国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

原油価格・円相場・株価

- 原油価格は、中東情勢の緊張緩和や供給回復を受けて一時1バレル80ドル程度まで下落したが、その後、中東情勢の再緊迫化による供給懸念の再燃などから上昇し、足元は100ドルを超えて推移。
- ドル円相場は、日米協調介入や日銀の金融引き締め観測などを背景に円高に振れる局面はあったが、その後はFRBの追加利上げ観測や米長期金利上昇を受けて円安方向に推移し、足元は1ドル150円台後半で推移。
- 日経平均株価は、企業業績の堅調さや景気刺激的な政策運営への期待などから上昇基調で推移してきたが、AI・半導体関連株が上下に振れる中、地政学リスクへの警戒感もあり、足元は振れを伴いながらも横這い圏で推移。

原油価格



（注）『原油価格』はWTI先物。
（資料）Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ドル円相場・日経平均株価



（資料）Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行　経営企画部　経済調査室（名古屋）
〒460-8660　愛知県名古屋市中区錦3-21-24

照会先：中村 拓郎　　e-mail：takurou_nakamura@mufg.jp